

ほろろ市 議会だより

平成23年7月31日発行
No.24



平成23年6月定例会

- 平成23年第2回臨時会 正副議長選任……………P2
- 議員紹介……………P3
- 平成23年度第2回定例会 主な質疑……………P4
- 平成23年第2回臨時会 各種委員会委員決定……………P5
- 提出議案と審議結果……………P4~P5
- ここが聞きたい!** 一般質問……………P6~13
- 主な議会の動静 / 委員会活動報告……………P13
- 傍聴者の声 / 9月定例会の予定……………P14

初議会を終えて

平成23年第2回臨時会 正副議長を選任



議長 山口 徳



副議長 岩間 勝栄

議長就任あいさつ

この度、平成23年第2回鉾田市議会臨時会におきまして、議員各位のご推挙により私が鉾田市議長の要職に就かせていただくことになりました。

誠に身に余る光栄でありますとともに、責任の重大さをひしひしと感じ、身の引き締まる思いでございます。

さて、3月11日発生した東日本大震災により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

私ども議会におきましても、執行部と一丸になり、この未曾有の自然災害に対し、一日も早い復興をなし遂げなければなりません。また、出荷停止・風評被害に対する万全なる補償にも、全力を尽くさなければなりません。

そして市民一人一人が「豊かさ・生きがいを実感できる」ふるさと鉾田市を実現するため、皆様と一緒に努力する決意でございます。また、若人が安心して定着生活できるように頑張つてまいります。そしてこれからも誠心誠意、円滑たる議会運営に努めるとともに、議会をより活性化し、議会機能の向上に全力を傾注してまいりますので、今後とも市民の皆様の温かいご支援・ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

〈議長 山口 徳〉

議席番号	氏名	党派	住所
22	倉川陽好	無所属	札137番地2
21	石津武吉	日本共産党	上沢1469番地
20	高野衛	日本共産党	青柳2786番地13
19	堀田正衛	無所属	徳宿3107番地
18	田口清一	無所属	勝下244番地1
17	栗田洋	無所属	子生9番地
16	山口徳	無所属	大戸544番地
15	友部政徳	無所属	畑田1994番地
14	菅谷達男	無所属	滝浜448番地1
13	米川宗司	無所属	沢尻9番地
12	井川茂樹	無所属	箕輪1966番地
11	畠長弘	無所属	箕輪2258番地
10	岩間勝栄	無所属	勝下770番地
9	飯塚幸右衛門	無所属	上沢382番地5
8	小沼俊秀	無所属	台濁沢820番地
7	江沼久男	無所属	造谷315番地2
6	入江晃	公明党	鹿田63番地1
5	水上美智子	公明党	飯島909番地39
4	小川一彦	無所属	当間677番地
3	出沼丈夫	無所属	鉾田1652番地
2	小沼幸義	無所属	飯島24番地
1	根崎眞	無所属	二重作951番地

議員紹介

住民の付託に応えるため、22名の議員により、新たな活動を開始!!



田口 清一



井川 茂樹



入江 晃



根岸 眞



堀田 正衛



米川 宗司



江沼 久男



小沼 幸義



高野 衛



菅谷 達男



小沼 俊秀



出沼 丈夫



石津 武吉



友部 政徳



飯塚 幸右衛門



小川 一彦



倉川 陽好



栗田 洋



畠 長弘



水上 美智子

平成23年第2回定例会

〈本会議〉
6月10日

主な質疑

議案第5号

平成22年度銚田市
一般会計補正予算
(第11号)

問 今回の地震で被災し、修繕が必要になった市営住宅の件数はどのくらいか。

答 最初に応急工事について11戸分、最終的に全体を直すということで73戸分の修繕を予定しています。また、集会所についても一部損傷があるので、修繕をします。

議案第12号

平成23年度銚田市
一般会計補正予算
(第2号)

問 第二保育所に関して、今のところに復旧工事として建てるのか、新たな場所を選定して建てるのか。また、民間の保育所への委託や小学校の空き教室を利用する考えはあるのか。

答 現在の敷地を修復して復旧という形になります。工事は年度内で完了させて、来年4月には元の形にしたいと考えています。また、民間ですべてをカバーすることが困難なので、ある程度希望に合わせた形で進めたいと思います。それから、保育所は給食を提供する必要があるため、給食室の関係もあり空き教室の利用は考えていません。

問 グループホームについて、新たな施設がふえることで、待機者はどの程度解消されるのか。また、各小中学校や体育館等

の修繕はいつ頃終わるのか。現在把握している銚田市のグループホームへの待機者数は18名です。2つの施設がオープンすれば、待機者の解消は十分に図れると考えます。また、学校関係の修繕については、7月あたりから入札をして、10月から11月にかけて修復できるようにしたいと考えています。



提出議案と審議結果

◎ 全員賛成
● 賛成多数
● 賛成少数
△ 継続審査

平成23年第2回銚田市議会定例会

平成22年度補正予算

- ◎ 銚田市一般会計補正予算(第11号)
- ◎ 銚田市銚田区域水道事業会計補正予算(第4号)

平成23年度補正予算

- ◎ 銚田市一般会計補正予算(第1号)
- ◎ 銚田市旭区域水道事業会計補正予算(第1号)
- ◎ 銚田市銚田区域水道事業会計補正予算(第1号)
- ◎ 銚田市大洋区域水道事業会計補正予算(第1号)
- ◎ 銚田市一般会計補正予算(第2号)
- ◎ 銚田市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
- ◎ 銚田市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
- ◎ 銚田市介護保険特別会計補正予算(第1号)
- ◎ 銚田市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)
- ◎ 銚田市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)
- ◎ 銚田市旭区域水道事業会計補正予算(第2号)
- ◎ 銚田市銚田区域水道事業会計補正予算(第2号)
- ◎ 銚田市大洋区域水道事業会計補正予算(第2号)

条例・規則の一部改正等

- ◎ 銚田市税条例の一部を改正する条例について(3件)
- 銚田市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について
- ◎ 銚田市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について
- ◎ 銚田市議会委員会条例の一部を改正する条例

その他

- ◎ 訴えの提起について(3件)
- ◎ 銚田市青色申告・期限内完納都市宣言

平成23年第2回臨時会で各種委員会委員が決定しました。

委員会名		委員長		副委員長		委員									
総務企画常任委員会 (8人)		江沼 久男		畠 長弘		米川 宗司	山口 徳	田口 清一	堀田 正衛	高野 衛	倉川 陽好	堀田 正衛	根 寄 眞	入江 晃	飯塚幸右衛門
経済建設常任委員会 (7人)		小沼 俊秀		井川 茂樹		根 寄 眞	入江 晃	飯塚幸右衛門	栗田 洋	石津 武吉					
厚生文教常任委員会 (7人)		菅谷 達男		小沼 幸義		岩間 勝栄	友部 政徳		出沼 丈夫	小川 一彦	水上 美智子				
議会運営委員会 (9人)		小川 一彦		堀田 正衛		根 寄 眞	小沼 幸義	江沼 久男	倉川 陽好	井川 茂樹	菅谷 達男				
議会広報編集委員会 (6人)		友部 政徳		根 寄 眞		水上 美智子	井川 茂樹	米川 宗司	高野 衛						
銚田市災害復旧復興 対策特別委員会 (9人)		倉川 陽好		飯塚幸右衛門		石津 武吉	栗田 洋	田口 清一	堀田 正衛	堀田 正衛	岩間 勝栄	入江 晃	江沼 久男	岩間 勝栄	菅谷 達男

請願

● 保育制度改革に関する意見書提出を求める請願書

討論（反対討論や賛成討論があった議案）

銚田市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について
保育制度改革に関する意見書提出を求める請願書

平成23年第2回銚田市議会臨時会

平成23年度補正予算

◎ 平成23年度銚田市一般会計補正予算（第3号）

条例・規則の一部改正等

● 銚田市税条例の一部を改正する条例について

その他

◎ 銚田市災害復旧復興対策特別委員会の設置について

人事

◎ 銚田市監査委員の選任（勝下 田口清一議員）

討論（反対討論や賛成討論があった議案）

銚田市税条例の一部を改正する条例について

選挙

議長選挙 山口 徳

副議長選挙 岩間 勝栄

鹿行広域事務組合議会議員選挙

小川 一彦・米川 宗司・倉川 陽好

大洗・銚田・水戸環境組合議会議員選挙

栗田 洋・田口 清一・堀田 正衛・石津 武吉

茨城県後期高齢者医療広域連合議会議員選挙

菅谷 達男

ここが聞きたい!!一般質問

14人の議員が一般質問

議員名	質問事項
倉川 陽好	(1) 新鹿行大橋について (2) 市のこれからの街づくり計画は (3) 工場誘致について (4) 小学生プール利用について (5) 健康財団の施設状況と営業等について
畠 長弘	(1) 防災対策について (2) 震災をうけ公共施設の今後の取り組みについて (3) 原発事故による風評被害対策について
友部 政徳	(1) 東日本大震災に関して
小沼 幸義	(1) 文化複合施設について (2) 白鳥東小学校体育館耐震工事について
方波 見和彦	(1) 市街地の復興について (2) 公職の兼務について
飯塚 幸右衛門	(1) 保育所について (2) 学校の部活動 (3) 道路について
水上 美智子	(1) 災害時に強い街づくりについて (2) 子育て支援について (3) いじめ予防について
入江 晃	(1) 防災対策について (2) 学校及び公共施設のトイレについて
小沼 洋一	(1) シルバー財団への職員について (2) 基金について
勢司 正躬	(1) 放射線量とこれからの原子力についての対応は (2) 3月11日の東日本大震災について (3) これから発注される各種工事について
米川 宗司	(1) 原子力について (2) 学校施設について
高野 衛	(1) 東日本大震災について (2) 文化複合施設について (3) 原子力問題について (4) 環境衛生対策について (5) 農業対策について
井川 茂樹	(1) 農産物の風評被害の今後の対策について (2) 耐震診断について
小沼 俊秀	(1) 幹線道路の通行止めについて

ホームページで
一般質問の会議録が
見られます

市のホームページで、本会議の会議録を公開しています。

- ① 銚田市のホームページへアクセスする。(アドレス <http://www.city.hokota.lg.jp>)
- ② 市ガイド内の「銚田市議会」をクリックする。
- ③ 会議録をクリックする。

なお、今定例会の会議録公開は、9月頃の予定です。本会議の会議録(「冊子」)は、市立図書館で閲覧できます。

鹿行大橋

倉川 陽好 議員



問

銚田市と行方市を結ぶ
国道354号線・鹿行大橋が

3月11日の東日本大震災で中心部が崩落し、通行不能になりました。市として、国道354号線を管理する茨城県へどのように働きかけているのか伺います。

要望

地元住民の前で大畠章宏国土交通大臣が、平成24年の春までに完成させるように茨城県に対して指示したことが新聞にも掲載されておりますので、これに対する茨城県の見解を求めます。

答

【建設部長】市としても、重要な路線と認識しておりますので、早急な復旧を県に要請したところです。

県によると残った橋梁部分の利用が困難であることから、仮橋による復旧も考えられ



原発事故による風評被害対策

畠 長 弘 議員



問

原発事故による出荷停止、自粛を初めとする風評被害などに対して、市独自の支援策はどのように考えているのか伺います。

答

【産業経済部長】JAの組合員が資金を借りる場合に、茨城県では緊急つなぎ資金として、融資限度額500万円に対して0.25%の利子助成をすることが打ち出されています。

本市における農業従事者の半分ぐらいは任意組合の方と個人出荷の方ですので、平等

性という観点から、同額の0.25%を市独自の利子助成制度として設置しています。

問

還元型太陽熱土壤消毒の活用による「土づくりに」に対して、本市でもメロン、いちご農家に助成をしていますが、今回被害の大きい葉物農家にも対象を拡大できるか伺います。

答

【産業経済部長】昨年度まではメロン、いちごとか銘柄産地の指定を受けているものに対して、助成しておりましたが、平成23年度から、トマト、パセリ、ミズナ、ホウレンソウについても新たに加えています。



東日本大震災

友部 政徳 議員



問

地震による本市の道路、建物、関連施設等の被害状況はどうだったか伺います。

答

【総務部長】まず、道路については、鹿行大橋を初めとして、ほとんどの橋に段差ができるとともに、道路の陥没、亀裂等などが数多くあり、通行不能の箇所もありました。しかし、現在では、通行どめの箇所は9カ所、片側交互通行は4カ所になっています。

次に、建物については、特に屋根の被害が多く見られます。

た。また旧市街地から当間地内にかけてなど、水田地帯の付近においては、一部液状化による住宅の不同沈下等多く見られました。

それから、市の関連施設については、特に学校の体育館や総合運動公園の体育館、スポーツセンターの体育館等の天井の板が破壊する被害が多く見られ、避難所として使用できないほどの被害がありました。

問

仮復旧工事に協力してくれた業者に、工事を優先すべきと思いますが、どのように考えているか伺います。

答

【総務部長】心情的にわかりますが、入札の契約条項があるので、それに従い適切にやりたいと思います。

文化複合施設

小沼 幸義 議員



問

震災復興を優先して、文化複合施設については、凍結、中止をし、今本当に必要とされるものにお金を使うべきと思いますが、市の見解を伺います。

答

【総務部長】震災復興が優先されるべきというご意見ですが、市は現在、復旧、復興を優先し、全力でそれらに取り組んでいるところです。さらに、今までの生活を取り戻すとともに、施設建設により市民の生活に潤いや活力、そしてコミュニティーの醸成

など、復興のために寄与できる面も多々あるものと考えています。

問

現状の市民感情を考えれば、やはり凍結または中止すべきと思いますが、その点についてどう考えているか伺います。

答

【市長】長岡藩の「米百俵」という話もあります。そのときに米を食べていれば、もちろんなくなつたかもしれないませんが、それを長岡藩は学校のほうに投資をしました。それが後でもっともつと大きく実つた。そういう観点から見れば、最後の最後まで我々の考えを市民の皆さんにお話して、ご理解をいただきたいというのが、私の考えです。

市街地の復興

方波見 和彦 議員



問

商店街の建物だけが直つても、道路等のインフラが整備されなくては効果がないと思います。都市計画の見直しも含めて、市街地再開発事業ができないのか伺います。また、防災の面からも、災害復興区画整理事業ができないのか伺います。

答

【建設部長】市街地再開発事業については、過去に提案したが、地権者の理解が得られず、断念した経過があります。関係地権者から

とは可能だと思えますが、新たに計画した場合、道路の幅員も広く必要となり、沿線土地の利活用を熟慮しなければ、商店街の衰退、空洞化に拍車をかけることにもなりかねないので、慎重に対応すべきと考えています。

次の災害復興区画整理事業については、本市が当該事業に該当する大規模の基準に当たるか疑問が残ります。また、地盤沈下、液状化のほか、土地形態の変化をも考慮した都市計画づくりへの市民の合意形成には、時間を要することが想定されるため、当面は、市民の生活に密着した市内全域のインフラの復旧を、最優先的に進めていくべきと考えています。

保育所

飯塚 幸右衛門 議員



問

液状化により第一保育所と第二保育所が一緒になっておりますが、第一保育所と第二保育所の子供は何人ぐらい入所しているのか伺います。

答

【健康福祉部長】6月1日現在、第一保育所96名、第二保育所93名で合計189名となります。

問

現在は第一保育所と第二保育所の子供たちが一緒に生活しております。例えばトイレ、手洗いの場所は、以前と同じ数量だと思

ますが、その狭い中での子供たちは順番待ちとかその他いろいろなストレスがたまっていると思います。それらについてのケアはどのように行っているのか伺います。

答

【健康福祉部長】90名の定員のところに第二保育所がそっくり入りましたので、狭い、窮屈という印象は受けていると思います。子供たちも今までよりは多くの人数ですので、ストレス等もあると思います。が、それらについては、保育士の先生方も十分に配慮して対応させていただいております。



災害時に強い街づくり

水上 美智子 議員



問

震災発生時、防災無線が聞きづらいという住民の声を聴きました。

そこで、聞きづらい地域の解消を図るため、防災無線個別受信システムを市内全戸に整備すべきと思いますが、市の見解を伺います。

答

【総務部長】予算や耐用年数も考慮して、貸与してからの維持管理で財政を圧迫しないよう検討し、計画的に各戸へ配布できるように進めたいと考えています。

まずは、防災無線の難聴世帯

として10世帯、それと高齢者の独居世帯を1,089世帯と算出していますので、これらの世帯に戸別受信機を設置したいと考えています。

問

災害時に児童がより安全に避難するために、防災ずきんの必要性を提案します。本市の鉾田小学校においても、防災意識を図る意味から活用を図ってはどうかとなっているようですが、これに対する教育長の見解を伺います。

答

【教育長】鉾田小学校で取り組んでいるとの報告を受けましたので、今度の園長、校長会で情報を提供し、できるだけそういう取り組みを進めたいと思います。

防災対策

入江 晃 議員



問

避難所の備蓄資材の充実に実を図るための非常時のディーゼル発電装置や仮設トイレの整備をどのように進めていくのか伺います。

答

【総務部長】備蓄資材や非常用食料などを管理する倉庫等を確保することを考え、防災計画に記載されている45力所の避難場所等も再検討し、発電機などの機材の整備をして、安全で安心なまちづくりを進めていきたいと考えています。

問

災害時においては、地域住民の皆さんの安心、安全のために、各地の集落センターにおける備蓄資材等の整備をしておかなければならないと考えますが、いかがか。

答

【総務部長】集落センターは地域の中心でありますので、集落センターに水の確保、電源の確保ができればよいと思います。今後は財政面も考慮しながら、市内全域の集落センター等に備蓄資材等の整備ができるように検討していきたいと思えます。



基金のあり方

小沼 洋一 議員



問

本市には214億円の市債があります。96億円以上の基金があるならば、借り入れを起こさず、償還をして負担を軽くするのも将来に向けた基金のあり方ではないかと思えますがいかがか。また、大幅に基金を取り崩し速やかに市の災害復旧に充てるのも基金のあり方ではないかと思えますがいかがか。

答

【総務部長】基金残高約88億円のうち繰上償還に充当できる基金は減債基金約8億3,000万円です。仮

にこの金額を今繰上償還したとしても財政上のメリットはそれほど大きなものとはならないことから、減債基金につきましては公債費に充当していきたいと考えています。

財政調整基金は、災害等の不測の事態に備えることが目的の一つであり、今回の災害時には、市民のためにある程度使用することは、議員ご指摘のとおりで、今回の補正予算に計上した被災者住宅支援事業や市税減免事業、さらには市災害見舞金等の市単独の被災者支援や補助対象外の単独災害復旧事業等に充てるため、現段階で6億1,000万円の財政調整基金の繰り入れを予算計上しています。

鉾田小・鉾田南中付近の道路復旧

勢司 正躬 議員



問

鉾田小学校前の道路、もしくは南中から市内へおりる道路の復旧工事、どちらかを優先すべきと思うが、現在の進捗状況を伺います。

答 【建設部長】 鉾田小前の市道7・63号線及び南中下の市道8・5103号線については、国庫補助のある災害復旧事業による復旧工事を予定しています。両路線とも路面だけ仮復旧した場合、その路面や擁壁等に影響を及ぼすため本復旧で対応する予定です。

鉾田小前の市道7・63号線については6月2日に査定を受け、また南中下の市道8・5103号線については、復旧工事の工法について県を通して国と事前協議中であり査定の日程は決まっています。いずれも査定を受け、承認をされた後に実施設計を組み、発注する予定です。

問

国の決定を待たずに、工事をしてから請求するわけにはいかないのか。

答

【建設部長】 原則的に査定後、実施設計を組んでからの工事になります。仮復旧では、土庄でのり面が崩落するおそれがあり総合的に検討すると仮復旧でなく、完全に仕上げる工法で施工したいと考えます。

被災した学校施設

米川 宗司 議員



問

震災後3カ月になろうとしているが、いまだ使用できない体育館など、どのような施設があるのか。そして、今後どのように復旧・復興されるのか伺います。

答 【教育部長】 いまだ使用できない体育館は中学校では、旭中学校、鉾田南中学校、鉾田北中学校の3校です。また、小学校の体育館では巴第一小学校、大和田小学校、白鳥東小学校の3校です。現在、補修工事の設計が仕

上がってきているので、今後、早急に補修工事の準備をしていきたいと考えてます。

問

体育館が使えないので、屋外で対応するとか、または近隣の小学校で対応しているという話を聞いたが、パネルが落ちた箇所はパネルを撤去して、子供たちに一日も早く使用してもらおうという方法はできなかったのか伺います。

答

【教育部長】 とにかく完全に安全が確保できる状態にしてから使用するというのが原則です。保護者とか、子供たちの意向は十分に承知していますが、基本的には安全を確保するという、それが中心的なことを考えています。

原子力問題

高野 衛 議員



問

原発依存のエネルギー政策から再生可能な自然エネルギーへの転換を政府は決断すべきと考えます。市はどのような見解を持っていますか伺います。

答

【総務部長】我が国の風力や太陽光による自然エネルギーの技術力は世界屈指であります。短期的に自然エネルギーに転換し、原子力エネルギーと同等の電力を安定的に発電・供給することは現在のところ困難と考えます。自然エネルギーについては、長期的な観点からは必要と考

えますが、現在の我が国の経済を考えると、電力の安定供給のため原発は欠かせないものと考えます。

問

電力の今の状況を見ると、十分自然エネルギーで賄うことができると思いますが、国に対する働きかけについて市長はどう考えますか。

答

【市長】自然エネルギーは太陽光であれば、夜は発電できませんし、風力であれば、風が吹かなければ発電できません。今後蓄電の技術が進めば違う方法もあるとは思いますが、現在の日本の電力を賄おうとすれば当面の間がかかると思います。自然エネルギーへの転換に関する国への働きかけは議論を十分して検討していくべきと思います。

風評被害対策

井川 茂樹 議員



問

本市では、風評被害による国への損害賠償請求を行うことについて、全額補償が受けられない場合において市の補てんはあるのか伺います。

答

【産業経済部長】市の補てんは、現在のところ考えていません。

問

市としての市民を助ける、農家を助ける手段を考えなければならぬと思います。そのためには基金を活用して、市が独自で農家の人に、実害の半分くらいの借

り入れを起こさせることはできると思います。そういうことをしないと、働く活力がなかなか生まれないのでないかと思えます。

市民を助けなければ行政は必要ありません。逼迫した農家がたくさんあります。今、ぜひとも市の執行部はよく検討して、農家の方々に活力を与えるような方法を、施策をとるべきではないかと考えますがいかがか。

答

【市長】農協での融資、そして市での利子の補てん制度をいち早く立ち上げて取り組んできました。議員がおっしゃる内容もわからないわけではありませんが、まず農協の融資、市での利子の補てん制度の活用をお願いするのが順番だと思います。

幹線道路通行止め

小沼 俊秀 議員



問

市道大洋0102号線、青山、二重作間の道路

が平成22年10月の台風の大雨で道路が陥没して通行止めとなりました。国の災害復旧支援を受けて工事を進めている最中に3月11日の東日本大震災で地盤沈下が起こり大きく地割れしてしまい工事が中断している状況です。ぜひ早急に応急工事をして通行できるようににならないか伺います。

答

【建設部長】道路部分の応急処置で通行した場合、のり面崩壊等の2次災害

の恐れがあるため、のり面、擁壁等の工事も含めた本復旧工事を予定しています。この道路も災害復旧工事を予定していますので、国の査定を受け、承認された後、実施設計をし、工事を発注していきたいと考えています。

問

行政は住民のために住

みよい環境をつくるのが大事な仕事だと思えます。国の支援を当てにしないで自力でやるのが現在置かれている市の役割と思えますが、いかがか。

答

【建設部長】大震災によ

り市では23力所ほど大崩落した道路があり予算的なものを踏まえれば、国の補助事業を使って整備することが必要かなと考えます。

主な議会の動静

- | | | |
|----|-----------|-----------------------|
| 5月 | 11日 | 全員協議会 |
| | 20日 | 県東市議会議長会定例会 |
| | 24日 | 議会運営委員会 |
| | 24日 | 市町村長・市町村議会議長会議（茨城県主催） |
| | 27日 | 県市議会議長会定例会 |
| 5月 | 30日 | 全員協議会 |
| | 30日～6/10日 | 平成23年第2回定例会 |
| 6月 | 1日 | 厚生文教常任委員会 |
| | 2日 | 総務企画常任委員会 |
| | 6日 | 議会広報編集委員会 |
| | 7日 | 経済建設常任委員会 |
| | 7月 | 6日 |
| 7月 | 11日 | 平成23年第2回臨時会 |
| | 12日～13日 | 県市議会議長会研修会 |
| | 15日 | 鉾田市災害復旧復興対策特別委員会 |

鉾田市災害復旧復興対策特別委員会所管事務調査

7月11日臨時会で設置された本委員会は、早速、7月15日に市内管内の被災状況を改めて確認するため、道路及び市街地の状況を視察いたしました。

また、鉾田工事事務所にて県道等の復旧に関する進捗状況の説明を受けました。



鹿行大橋の工事風景

※来夏に開通に向け、復興作業が進んでいます。

傍聴者の声



高釜 正 久坂 法 正

今年の3月まで8年間区長を経験させていただく中、数多く議会の傍聴に出席しました。議員さんが各地区の皆さんの声を聞き、市の発展に真剣な議論を行っている事に対し安心しました。かつて、今までに経験したことが無い原発事故での風評被害、また震災の復興作業等の問題が今後の議会に山積しております。市民の声を市政に反映し、この市の豊かな自然、おいしい食材、安らぐ風土が保たれる、そして暮らしやすい鉾田市になるよう期待して居ります。

9月定例会日程(予定)のお知らせ

月 日	会議内容
9月9日(金)	本会議開会
9月12日(月)	一般質問
9月13日(火)	一般質問
9月14日(水)	委員会
9月15日(木)	委員会
9月16日(金)	委員会
9月20日(火)	本会議
9月22日(木)	本会議閉会

※日程は変更になる場合があります。

平成23年第2回(6月)定例会の延べ傍聴者数 74名

掲載写真募集!!
 あなたの写真を
 議会だよりに掲載しませんか?
 詳しくは、議会事務局に
 お問い合わせ下さい。

編集後記

県西地区の市議会議員選挙の応援に行った時、「4年の任期中一度も発言・質問もしない議員がいる。そんなふうだから市民は定数を減らせと言っているんだ」と挨拶した人がいた。

鉾田市議会も定数を4人削減して改選が行われ22名の議員でスタートした。3月11日の東日本大震災は今までに多くの爪痕を残しており復旧・復興に全力で取り組んでいかなければならない。暗いニュースの多い中、W杯での『なでしこジャパン』の優勝は被災地、被災者に勇気を与え日本中が歓喜した。諦めない前向きに努力する姿は見習うべきである。

議会と執行部は車で言えば両輪に譬えられる。市民が安心して暮らせる環境をつくって行くのが責務である。議会は全国的に見てもオール与党化されているようでチェック機能を失っていると指摘されている。市民のために今何をすべきか、何ができるのかよく考えて行動していきたい。

議会広報誌を担当することになった。議会や各議員の活動状況を報告出来る紙面づくりに努力します。

(友部 政徳 記)

- 委員長 友部 政徳
- 副委員長 根岸 眞
- 委員 水上 美智子 井川 茂樹
- 米川 宗司 高野 衛

写真提供: 碓山地区 谷田川勝喜氏